

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2015年8月

2014年度電気材料安全・規格委員会活動報告

電気製品の安全性確保に果たすプラスチックの役割及びプラスチック業界の意向反映を行う事の重要性が高まる環境にある中、今年度も当委員会から委員を派遣して活動を進め、関連団体との交流を実施し、活動状況の情報交換や相互理解を深めた。

1. (一社)電子情報技術産業協会との連携

電安法技術基準改正に係る情報の共有化並びに技術基準解釈への取り組み、UL等の材料規格動向への取り組み、並びに、両団体の活動状況について、情報交換と意見交換を実施した。

2. 電気用品部品・材料認証協議会の登録制度への対応

1) 「電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正」(平成26年9月18日付通達)の概要報告にて、耐トラッキング性の要求を従来の「電気冷蔵庫・冷凍庫の差込みプラグ」に加え「電気製品を限定せずに差込みプラグ」及び「本体に栓刃を有する機器(マルチタップ、漏電遮断器、ダイレクトプラグイン機器)」にも併せて適用することになった。

2) 「材料の耐トラッキング性(CTI)のCMJ登録」について、塩化ビニル樹脂は、技術調査の結果、黒色の結果のみでその材料の全色としての登録を認める事となった。

3. IEC関係

3.1 IEC/TC89(耐火性試験)

5月ボローニャ(イタリア)、11月ノースブルック(米国)にてIEC/TC89の国際会議が開催された。

1) EC 60695-11-20(500W 垂直燃焼試験/UL94 5V 対応規格) WG12

2nd CDV が反対無で可決された。日本の追加提案(5秒間の接炎中、nearest to the burner を追尾することを明確にする)も可決された。

2) 旧 IEC 60695-2-20(ホットワイヤ試験) WG12

RRT で試験再現性の問題が依然残り検討中。

3.2 IEC/TC108(オーディオ・ビデオ、情報機器、通信技術分野における電子機器の安全性)

1) MT1(AV 機器安全規格(IEC60065 第8版改正活動)分科会:

6月にISが発行された。

2) MT2(IT 機器安全規格(IEC60950-1 第2版改正活動)分科会:

IEC60950-1 第2版 2:2013が発行。

3) HBS(新 Hazard Base 安全規格(IEC62368-1 第2版改正活動))分科会:

IEC/TC108 東京会議で審議。IEC62441「ろうそくもらい火規格」はCDV案件となる。

3.3 IEC/TC112(電気絶縁材料及びシステムの評価と認定)

東京国際会議(2014年11月10~14日)でのプラスチック関連規格の動向は以下の通り。

1) WG1(熱的耐久性):

IEC/TS 60216-7(熱分析に基づく、TI、RTIの評価)の規格化に向けたRRTを実施中。

2) WG4(誘電特性、抵抗特性)

IEC 62631-3-1~3(体積抵抗・表面抵抗・絶縁抵抗)の規格作成中。東京国際会議にて、日本の意見(ガード電極の必要性)が認められ、FDISにおいて修正される予定である。

4. UL関係

4.1 UL規格改訂状況の把握(継続実施)

4.2 Standards Technical Panel 主要議題

(2015年3月Orland開催)

1) UL94

50W 垂直燃焼試験用 Clearance Gauge を Note に追加提案

2) UL746A

①耐トラッキング性試験（傾斜平板法）

②Polymer Variation の改訂提案 3 件

3) UL746B

①Exceptionally Durable Materials に対する温度固定法

②PEI の Generic Thermal Index の提案

③IEC/TS 60216-7-1 に基づく熱分析による

熱劣化試験の加速法

4.3 UL 規格アウトラインの発行

1) UL 746H: Outline of Investigation for Non-Halogenated Materials （11 月）

2) UL 746R : Restricted Use Substances in Polymeric Materials （12 月）

以上